

令和3年度 全学FD実施方針・実施結果

令和3年6月現在

◆ 定例FD活動 実施方針

No	I 定例FD活動項目
A	公開授業(授業参観)の実施
B	教育ワークショップの開催
C	授業についてのアンケートの実施
D	新任教員ティーチングサポートプログラムの実施

◆ FD2021に基づく活動 実施方針

取組No	II FD2021に基づく活動項目
I-1-(1)	DP達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DPルーブリックの策定に向けた問題検討、目標・計画設定【R4.10月策定、R5年度開始】 ・DPルーブリックに関するアセスメントプランの検討【R5年度末まで】 【WG】【各学科・研究科】
I-1-(2)	学修マネジメントシステムの整備・eポートフォリオ等の導入 ・学修状況達成度評価・ポートフォリオ機能の検討、教職課程での履修カルテの再検討【R3年度中に検討結果報告】 【WG】
I-1-(3)	科目ナンバリング・カリキュラムマップの適切性の確認 ・改善事項の検討、課題の抽出【R4年度中に検討結果を報告】 【WG】
I-1-(4)	Society 5.0の到来に備えたDP/CPの再確認 ・数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の設置検討(情報教育センター・教養教育センターへ検討依頼) 【情報教育センター】【教養教育センター】【教職教育センター】【各学科・研究科】
I-2-(1)	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・各学科におけるルーブリック導入率(授業ルーブリック・課題ルーブリック)の向上【令和3年度授業ルーブリック導入率20%達成済、令和4年度授業ルーブリック導入率30%】 ・ルーブリック共通フォーマット(仮)導入の検討、シラバス執筆依頼時に展開【R3.10月まで】 【WG】【各学科・研究科】
I-2-(2)	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・授業科目ごとの成績評価分布・GPA平均値等のデータを収集し、FDセンターによる成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)策定【R3.10月】 ・各学科による研修会実施・意見共有【R4.3月までに1回】 【各学科・研究科】

I -2-(3)	各学科・研究科内FD研修会と情報共有の場の推進 ・各学科の先行事例を収集、周知【R3年度末まで】 【各学科・研究科】
I -3-(1)	授業についてのアンケート項目の見直し ・アンケート項目見直し、R3前学期より運用開始【R3.5月】 ・授業期間中の授業改善に資する学生意見の聴取(中間アンケート等)についての教員アンケートを実施【R3.12月】
I -3-(2)	ベストティーチャー賞選考方法の見直し ・授業についてのアンケート項目の見直しに伴う選考基準の再検討【R3.10月まで】 ・各学科・研究科の教員間、教員・職員間の協働や分業等の取組に関する表彰制度の検討【R3.10月まで、R4年度開始】 ・ベストティーチャー賞運用内規の一部改正【R3.10月】
I -3-(3)	FD活動に関する学生参画の促進 ・他大学事例の収集【R3年度末まで】
II -1-(1)	アクティブ・ラーニング等の推進 ・コロナ禍におけるアクティブ・ラーニング等の学修効果検証の事例収集【R3.年度末まで】
II -1-(2)	他職種・企業・市民あるいは他大学・異学校種との連携した授業開発の試行 ・事例収集【R3.年度末まで】
II -2-(1)	教育環境の整備 ・ハイブリッド型授業、特にハイフレックスタイプの授業を実施できる環境の整備のための実態把握・次年度予算化【R3.9月】
II -2-(2)	eラーニングや反転授業用の教材開発のための学内支援体制の整備 ・web授業支援員(仮称)配置及び継続的にFD活動を行う専門部署(仮称:教育改革支援室)の設置検討【随時】
II -2-(3)	クォーター制導入の検討 ・他大学事例収集【随時】

【 】内は主管となる組織を記載。特に記載がない場合はFDセンター全体で取り組む。【 】内はKPIを記載。

※参考(FD2021 取組一覧)

- I 自主的、自律的なFDの推進と自己点検・評価、改善体制の確立
 - 1 学位プログラムレベルのマネジメントの再確認
 - 2 授業レベルでのマネジメントの再確認
 - 3 教員の教育力や教職員によるFD推進活動に対する適正な評価

II 学生の学習環境整備と教員に対する支援の充実化

- 1 教育内容・方法の改善
- 2 教育環境の整備と支援の充実化